

6. ジオパーク学プログラム(10単位)

(1) プログラムの目的

ジオパークとは「地質及び地形、生態系、歴史、文化、景観、人々の暮らしや産業など地質に密接に関連する領域を切り口として整備される“地球と人間のかかわり”を主題とする市民のための自然公園」のことを意味します。本プログラムでは、多様で個性豊かな地域遺産について基礎的な知識を理解し、さらにジオパークを生かして地域活性化を模索・支援することができる学際的な人材を育成することを目的としたプログラムです。

(2) プログラムの学修到達目標

- ① ジオパークの取り組みについて、具体的な事例を挙げて説明することができる。
- ② ジオパークについて調査・分析することができる。
- ③ ジオパーク活動を実践・発表することができる。
- ④ ジオパーク活動の場に自らの役割を持って、主体的に参画することができる。
- ⑤ ジオパークについて他者と議論し、合意を形成することができる。

(3) 履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4) 履修手続

本プログラムを履修する者(以下「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラムの履修申請
- 二 その他本学が必要と認める書類

(5) 修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 (7)に示す履修表により履修し、必修科目6単位、選択科目4単位以上の合計10単位以上を修得すること。

(6) 履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 2年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムの必修科目を6単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を4単位修得済み、または履修中であること。

(7) 構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学基礎教育科目	地域創生科目群	ジオパーク学入門	2	2	/
		ジオパーク学各論	2	2	
		ジオパーク学演習	2	2	
		古代出雲の考古学	2	/	4
		山陰の歴史	2		
		山陰の自然史	2		
		汽水域の科学(入門編)	2		
		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
		地域博物館へのいざない	2		
合 計			10		

※「ジオパーク学各論」は、「ジオパーク学入門」の単位を修得した者でなければ履修することができない。

※「ジオパーク学演習」は、「ジオパーク学入門」及び「ジオパーク学各論」の単位を修得した者でなければ履修することができない。また、定員の上限(50名)を設ける。

※令和7年度以前に全学基礎教育科目「山陰の歴史-古代・中世-」及び「山陰の歴史-近世・近現代-」を修得した者は、選択科目として修了要件単位数に含めることができる。

※令和7年度以前に「山陰の歴史-古代・中世-」または「山陰の歴史-近世・近現代-」のいずれか、若しくはその両方を修得した者は、「山陰の歴史」を履修することができない。